

宮城県の特徴

1 地理的条件

東北の中心地である宮城県は、政令指定都市仙台を抱え、人口約230万人、東京の北東約300kmに位置しています。西部一帯は奥羽山脈が連なり、北上川、阿武隈川などによってつくられた豊かな穀倉地帯で、東北一の沖積平野が広がっています。

県中央には東北自動車道が走り、東北唯一の特定重要港湾である仙台塩釜港、国内外に定期便が運航されている仙台空港などのアクセス網が完備されています(図1)。また、東北新幹線の仙台-東京間が最短1時間30分で日帰りビジネスにも快適な環境にあります。



図1 宮城県内の高規格道路網整備状況
※青色箇所は整備中(平成31年3月末現在)

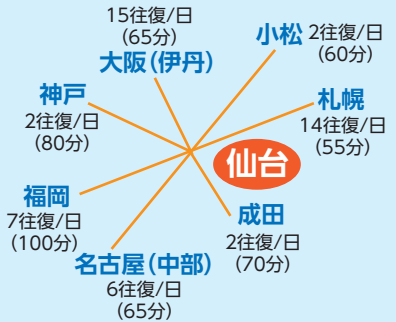
● 高速道路利用による国内主要都市への所要時間(仙台宮城ICから)

都市名	到着IC等	所要時間	距離(km)	都市名	到着IC等	所要時間	距離(km)
青森	青森中央IC	3:55	351.1	東京	川口JCT	3:25	332.4
秋田	秋田中央IC	2:59	243.1	名古屋	名古屋IC	7:17	685.4
盛岡	盛岡IC	1:54	179.7	大阪	豊中IC	9:07	850
山形	山形北IC	0:46	59.8	新潟	新潟中央IC	3:10	253.5
福島	福島飯坂IC	0:46	67.5	金沢	金沢東IC	6:24	548.8

出典：NEXCO東日本ホームページ

● 主な国内航空路線 (平成30年4月現在)

仙台空港へのアクセス
仙台空港アクセス線により、仙台都心(JR仙台駅)と仙台空港駅が最速17分。



2 自然条件

東北地方の太平洋側に位置し、比較的温暖で、降雪が少ないのが特徴です。

石巻市など沿岸部は、千葉県(銚子)と比較しても、夏場の気温、特に夜間温度が低く、春先2~5月の日射量は同等以上であり、施設園芸に適した気象条件です(図2)。

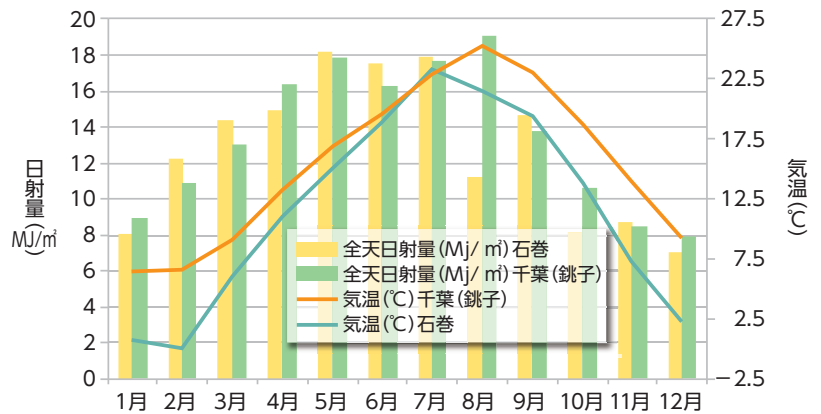


図2 宮城県内の気象条件(石巻市北上と銚子市の比較)
※石巻市北上は平成29年のデータ、銚子市はアメダス平年値

3 農業の特色

宮城県の農業産出額は1,900億円(平成29年)で、畜産41%、米41%、園芸17%の割合です。

畜産は、仙台牛のブランド化、米は、代表的な「ひとめぼれ」「ササニシキ」に加え、新品種「だて正夢(まさゆめ)」の生産拡大に取り組んでいます。園芸作物は、いちご、きゅうり、ねぎの産出額が大きく、パプリカ、せりは生産量全国1位です。

震災以降、沿岸部を中心に大区画ほ場整備が進むとともに、いちごやトマト等の先端技術を導入した施設園芸団地の形成が進んでいます。

農業産出額上位10品目(平成29年)

順位	品目	構成比(%)	産出額(億円)
1	米	40.6	771
2	肉用牛	14.3	271
3	鶏卵	8.3	158
4	豚	7.1	134
5	生乳	6.6	126
6	プロイラー	3.4	64
7	いちご	2.9	55
8	きゅうり	1.6	30
9	トマト	1.5	29
10	ねぎ	1.5	29